九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[044] 語文研究表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/10227

出版情報：語文研究. 44/45, 1978-06-01. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

学会彙報

昭和五十二年度第一学期講義題目（昭和五十二年四月～十月）

国語学

特講　古代国語の研究　春日教授
演習　万葉集巻十三　〃
〃　国語資料の研究　〃
特研　国語学史　〃
特講　国語史　奥村助教授
演習　近世語　〃
〃　国語学の諸問題　〃
特研　平曲譜本の研究　〃

国文学

特講　源氏物語研究史　今井教授
演習　とりかへばや物語　〃
〃　大和物語　〃
特研　平安朝文学の諸問題　〃
特講　近世文学史概説　中野助教授
演習　浮世草子　〃
〃　西鶴　〃
特研　文人主義の研究　〃
演習　近現代作品研究　（教養部）重松教授
〃　昭和作家論　〃
特研　近代文学史の諸問題　〃
講義　文学史の課題―漱石以後―　（梅光女学院大）佐藤教授

昭和五十二年度第二学期講義題目（昭和五十二年十月～五十三年三月）

国語学

特講　古代日本語の研究―国語史に関して―　春日教授
演習　万葉集巻十三　〃
〃　国語学資料の研究（来迎院本、日本霊異記）　〃
特研　国語史学史　〃
特講　国語史　奥村助教授
演習　平曲譜本の研究　〃
〃　国語学の諸問題　〃
特研　平曲の研究　〃
講義　国語学概論　（福岡女子大）鶴教授
臨講　語源論と国語学　（学習院大）大野教授

国文学

特講　物語文学序説　今井教授
演習　大鏡　〃
〃　本朝文粋巻十二　〃
特研　平安朝文学の諸問題　〃
特講　日本文学史（近世）　中野助教授
演習　洒落本　〃
〃　浮世草子　都乃錦　〃
特研　近世文人伝研究　〃
演習　近現代文学研究　（教養部）重松教授
特講　近代文学の諸問題　〃
特研　近代作家研究の方法　〃
講義　文学史の課題―漱石以後―　（梅光女学院大）佐藤教授
臨講　中世文学の諸問題　（京都大学）佐竹教授

修論題目（昭和52年度）

浄瑠璃丸本の国語学的研究　野口義廣
六国史宣命の小字書部分について　秋吉望
国語史資料としての移点本について
—九州大学所蔵儀軌による—　崎村弘文
源氏物語の構想論的研究　田坂憲二
坂口安吾研究序説　花田俊典

卒論題目（昭和52年度）

大蔵流狂言における待遇表現　坂口至
狂言記の国語学的研究　加藤はるひ
平安朝末期のアクセントより観た複合語
—類聚名義抄に現われたアクセントを資料として—　木部暢子
宮崎県東臼杵郡西郷村の方言　黒木真由美
近松世話物浄瑠璃における評語　国分洋子
夢野久作の「犬神博士」と近代文学　都田守之
正宗白鳥における死とキリスト教　三浦洋資
宇野千代論　安部奈留美
源氏物語夕霧の巻について　井上信子
源氏物語の世界　小野聡子
とりかへばや物語の基礎研究　辛島正雄
樋口一葉の文学　杉山圭子
建礼門院右京大夫集論　田長丸裕子
太宰治『晩年』論　谷所千鶴
源氏物語における世間体を気にする意識について　堤浩子
讃岐典侍日記執筆意図について　宮野由美子
源氏物語「浮舟」論　森門智恵美

○九州大学国語国文学会（昭和52年6月5日）

都良香—扶桑集所収作品の伝記的考察—　中條順子
源氏物語「桂の院」について　田坂憲二
九州大学蔵「成就妙法蓮華経王瑜伽観智儀軌」について
—字音資料・古代語資料としての考察—　崎村弘文
天草版平家物語の文章　柏原卓
元禄元年の芭蕉　井上敏幸
芭蕉翁絵詞伝の性格　田中道雄
副詞からみた平家物語と保元物語・平治物語　原栄一
芥川龍之介の「奉教人の死」の構成　海老井英次
「峯文十遠仁」考—万葉訓詁と実証性—　春日和男

○第27回西日本国語国文学会（51年9月24～25日）

方言国語史—相対的年代と日付の問題—　奥村三雄
「吹雪物語」の意図—坂口安吾論—　花田俊典
都の錦『播磨相原』をめぐって
—関琢磨氏蔵本の紹介を中心に—　若木太一
東大寺切にみえる音便現象について　春日和男

11 和歌山大学附属図書館真砂町分館の紀州藩文庫蔵本による。同大学柏原卓氏の御好意に感謝する。

12 この詞書と歌は、延宝二年刊『西行法師家集』雑の部に、「いせにて菩提山上人対月述懐侍しに　めくりあはて雲のよそにハ成ぬとも月になれ行むつひ忘な」として出ており、文明十二年奥書の『西行物語』にも類歌がみえる。

付記　小論は、昭和52年6月5日の九州大学国語国文学会において「元禄元年の芭蕉」と題して発表したものの一部に加筆したものである。

受贈雑誌（昭和五十二年四月～昭和五十三年三月）

愛知県立大学文学部論集・国文学科編26／愛知大学国文学15・16／愛文（愛知大）13／青山学院女子短期大学紀要31／青山語文7／アカデミア・文学語学編24／跡見学園国語科紀要25／

愛媛国文研究27／愛媛国文と教育8／

王朝文学史稿4～5合／大阪大学医療技術短期大学部研究紀要9／大阪大学教養部研究集録25／大阪樟蔭女子大学論集14／大谷女子大国文7／大妻国文8／沖縄国際大学文学部紀要・国文学篇5巻2・6巻1／御伽草子研究2／折口博士記念会紀要1・2

学苑451／学園論集（北海学園大）30・31／学芸国語国文学（東京　学芸大）13／学習院大学国語国文学会誌21／学習院大学文学部研究年報23／学術研究報告（高知大）26巻2～4合／学大国文（大阪教育大）20・21／香椎潟（福岡女子大）23／金沢大学法文学部論集・文学篇24／金沢文庫研究23巻2・3・4・5・6／漢学紀要（国士舘大）1

九州文化史研究所紀要22／京都家政短期大学研究紀要16／京都教育大学国文学会誌13／近世文学稿（広島近世文学研究会）22・23／近代文学論8／近代文学論集2・3／

くれない4／訓点語と訓点資料60／

研究紀要（日大人文科研）19／研究論集（開成中学・開成高校紀要）5／言語と文芸85／言語文化（一橋大）13／

皇学館論叢10巻1・2・3・4・5／高知大国文8／甲南国文24／神戸外大論叢27巻1～3合／高野山大学国語国文3／語学文学（北海道教育大）15／語学文学研究（金沢大）7／国学院雑誌78巻2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12／国学院大学紀要15／国学院大学大学院文学研究科論集3・4・5／国学院大学日本文化研究所紀要38・39／国学院大学日本文化研究所報14巻1・2・3・4・5・6／国語学106・109・110・111／国語学研究と資料2／国語研究5／国語国文46巻2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・47巻1／国語国文学（名古屋大）41／国語国文学研究（熊本大）12・13／国語国文学報（愛知教育大）31・32／国語国文研究56・57・58／国語国文論集（安田女子大）7／国語と教育（大阪教育大）7／国語と教育（長崎大）1・2／国語と国文学54巻5・6・7・8・9・10・11・12・55巻1・2・3／国語の研究10／国文（お茶の水女子大）47・48／国文学（関西大）51・52・53・54／国文学研究（早稲田大）61・62・63／国文学研究（東北大）16／国文学研究会報（慶応大）16／国文学研究資料館紀要3／国文学研究資料館報8・別冊1・9／国文学研究ノート（神戸大）8／国文学攷（広島大）74・75／国文学雑誌（廣女子大）21・22／国文学論集（上智大）11／国文学論集（山梨大）15／国文学論叢22／国文研究（香川大）2／国文研究（静岡女子大）10／国文鶴見12／国文目白16／国立国語研究所年報28／国立国語研究所報告59／古代研究8／古典と民俗4・5／語文（大阪大）33／語文（日本大）／43／語文論叢（千葉大）5／駒沢国文14／

25 栄花物語では「権大夫」（能信該当）が序したとする。諸本異同なし。しかし本朝文粋に「戸部尚書書信」として序文があるため「詳解」及び「大系本補注」に言う如く能信のための代作と見るのが妥当な解釈であろう。

26 （新古今集）勧持品のこころを

1929 数ならぬ命は何か惜しからむ法とく程をしのぶばかりぞ

（万代集）法成寺入道前摂政人々に法華経の歌よませ侍ける方便品の心を

身のうちに仏のたねは有けるをはく外に求めけるかな

27 この後に行成の「歌はおもしろし、実方は痴なり」と言った話が続く。但しこの歌は拾遺抄・拾遺集では「題しらず」「よみ人しらず」の歌となっており、実方の作とは言いがたく斉信についても信憑度には自ら限度があろうが説話に言う心は汲んでよいものと考える。

28 寛仁二年十一月二日条

29 長和三年七月十六日条

受贈雑誌（昭和五十二年四月～昭和五十三年三月）

佐賀大国文4・5／相模女子大学紀要40／札幌大学教養部・札幌大学女子短期大学部紀要9・10・11／薩摩路（鹿児島大）21／滋賀大国文15／静岡女子大学研究紀要10／実践国文学11・12／島大国文6／島根大学文理学部紀要・文学科編10／淑徳国文（愛知淑徳短大）19／樟蔭国文学（大阪樟蔭女子大）15／尚絅大学研究紀要1／女子大国文（京都女子大）81／女子大文学（大阪女子大）28／叙説（奈良女子大）1／書陵部紀要28／人文（京都大教養部）23／人文研究（大阪市立大）29巻1／人文研究（神奈川大）66・67／人文論究（関西学院大）26巻1・2・3・4／人文論究（北海道教育大函館人文学会）37／人文論集（静岡大）28巻1・2／親和国文11

椙山国文学1

成蹊国文11／成蹊大学文学部紀要13／清泉女子大学紀要25／説林（愛知県立大）26／専修国文21／善本写真集47

高崎経済大学論集19巻4

千葉大学人文研究6／中央大学国文19・20／中世文学研究（中四国中世文学研究会）3／中世文学論叢（東京学芸大）2／肇国40巻4・5・6・7・8・9・10・11・12・41巻1・3

鶴見大学紀要4

帝塚山学院大学日本文学研究8・9

同朋国文10／東北大学文学部研究年報26／東洋大学大学院紀要13／徳島大学学芸紀要27／富山大学国語教育2／富山大学文理学部文学科紀要4／都立大学方言学会会報73・74・75・76・77・78・79

長崎造船大学研究報告17巻2／名古屋大学国語国文学40／名古屋大学文学部研究論集・文学24／並木の里13・14／南山国文論集2

二松学舎大学論集・国文学編　創立100周年記念／日本学術会議月報18巻3・4・5・6・7／日本近代文学／24日本現代紙碑文学館3／日本古典文学会会報47・49・50・51・52・53・54・55・56／日本文化研究所研究報告（東北大）別巻14／日本文学25巻278／日本文学（東京女子大）47・48／日本文学研究（高知日本文学研究会）15／日本文学研究（大東文化大）17／日本文学研究（梅光女学院大）13／日本文学誌要臨刊号／日本文学ノート12／日本文芸学12／日本文芸研究29巻（関西学院大）1・2／日本文芸論稿（東北大）7

能研究と評論7

梅花女子大学文学部紀要13／萩原朔太郎研究会会報28／白路32巻4・5・6・7・8・9・10・11・12・33巻1・2